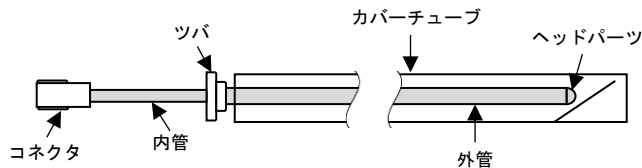


## 動物用精液注入カテーテル モ4号 AI

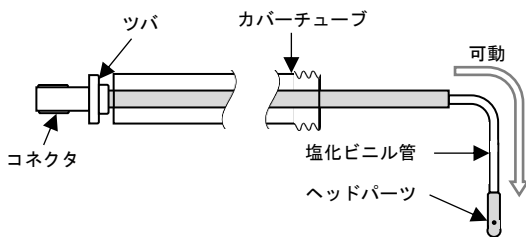
**【禁忌・禁止】**  
 ・本体の再使用禁止

### 【形状・構造及び原理等】

（本体およびカバーチューブ  
 ヘッド部分が収納された状態）



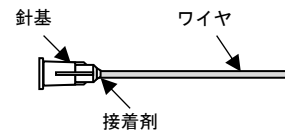
（本体およびカバーチューブ  
 ヘッド部分を押し出した状態）



### 【原料及び材料】

部位	名称	原材料
本体	ヘッドパーツ	ステンレス鋼
	外管	ステンレス鋼
	内管	ステンレス鋼
	ツバ	ABS樹脂
	コネクタ	シリコーンゴム
	塩化ビニル管	ポリ塩化ビニル
カバーチューブ	カバーチューブ	ポリエチレン
押し棒	ワイヤ	ステンレス鋼
	針基	ポリプロピレン
	接着剤	エポキシ樹脂

### 【押し棒：付属品】



### 【使用目的又は効果】

動物（主に牛）に使用されることを目的とした、精液を子宮内に注入するための器具である。

### 【使用方法等】

- 精液が入っているストロー管（0.5mL）および空の注射筒（2mL程度）を用意する。本体の包装をコネクタ側から開ける。  
 （※包装は移植作業直前まで外さない）  
 コネクタの穴から、封止部を切り取ったストロー管をしっかり差し込む。
- ストロー管内に押し棒を挿入し、ストロー管の綿栓を押し棒で押し込むことで本体内部に精液を移動させる。
- 精液が流れ落ちないように本体の平行を保ちながらストロー管を引抜き、押し棒を2mL程度引いた状態の注射筒をコネクタに即座に挿入する。

- カバーチューブを被せたまま、本体を包装から取り出し、牛の膣に挿入する。子宮頸管を通る時にカバーチューブをコネクタ側に引っ張りヘッド部分を突き破らせる。
- 子宮に到達したら、コネクタを押し込んでヘッド部分を伸ばす。注射筒の押し棒をゆっくり押し込み、子宮内にストロー管内の精液を放出する。

### 【使用上の注意】

- 包装および製品について、破損・汚損等の異常がある場合は、使用しないこと。
- 本体の再使用禁止。
- 付属品（押し棒）の再使用時は、衛生状態に十分注意すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

水ぬれに注意し、高温・多湿・直射日光を避けて保管すること。

### 【製造販売業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：エア・ウォーター・リアライズ株式会社  
 住所：茨城県笠間市長兎路 1320 番地 5  
 TEL/FAX：0296-77-8649 / 0296-77-8849

### 【製品に関するお問い合わせ先】

エア・ウォーター・リアライズ株式会社  
 電話：0120-305-765  
 〈受付時間：9:00～17:00〉